3月26日　シンポジウム

Ⅰ　各総領事から高校生への質問と応答コメントなど

①　神戸市立葺合高等学校

Q　将来、何がもっとも大きな社会変革になると思う？

A　日常生活においてロボットが使われるであろうということです。

Q　ロボットが人間の労働力を奪うということに恐れはない？

A　あくまでも人間がロボットをコントロールするべきだと思います。

Q　どうして日本の人口は少なくなっていると思う？インドネシアはまだまだ子供を欲しているが…

A　個人的には子供が欲しいと思います。でもそう考えていない人もいます。理由は経済的な問題です。

Q　家族と過ごす、あるいは趣味に使える時間をもっと長く持つという着眼は良いですね。今は仕事にあまりにも多くの時間を費やし過ぎている。人間とAIの境界線はどう考える？

A　人間には愛といった現実的な感情を持っていますが、ロボットにはそういった感情を表現する事が出来ないと思います。

Q　人間に代わって働くロボットも税金を払わないといけない？

A　ロボットにその必要はないと思います。あくまでも家事を手伝うというレベルかと。

Q　石黒博士は1000年後にはAIが人類を凌駕していると言っている。それに対処しておく必要もあるのでは？

A　ロボットは人間の社会復帰も手助けしてくれるのでは。

Q　今回どうしてロボットをテーマに選んだの？

A　2035年には私たちは35歳になっています。恐らく女性は子供を持つことで仕事を離れていると思います。でも職を離れずに済む方法を考えたい…そう思ったからです。

Q　ロボットが人の仕事をするということをどう考えている？

A　ロボットが人間ののぞむことを作り出すことはできないでしょう。大事なことは、どうすれば私たちの人間性を発展させることができるのかを考えなければいけないということだと思います。

Q　そうするために何を研究するべきだろう？

A　創造性…音楽だとか。

②　大阪府立住吉高等学校

Q　海外で学びたいの？

A　もちろん

Q　どこの国？

A　アメリカ合衆国。カナダ。イギリス。ドイツ。

Q　どの国もウエッブなどでインフォメーションを発信しているから、自分でちゃんと調べるべきだね。

Q　大学では何を研究したい？

A　言語学。経済学。

Q　言葉を学ぶことはとても大事だと思う。何語を学びたいの？

A　中国語。韓国語。フランス語。

Q　ところで、今回のプレゼンの要点は？

A　夢こそが全ての人にとって「機嫌よう働く」うえでもっとも大事なことだということです。

Q　君たちの夢は？

A　通訳官になること。英語の先生になること。

Q　それが夢なのか、それとも第一目標なのかを判断するべきだね。そこから更に自分が何を勉強すべきなのかを絞り込むべきだ。

Q　もし政府も学校もサポートをしてくれなかったとしても、海外で勉強したい？

A　はい。

③　大阪府立四条畷高等学校（質問のみ）

「オランダ総領事」

* 関西と東京の笑いは違う。関西のひとは銃を撃つ真似をしたら、ノってくれるよね。
* 働くひとが笑顔になったら、仕事もうまくいくわ。電車に乗っているひと顔がすごくみんな疲れているもの。笑
* （生徒に向かって）君たちは今日の発表を、大人も巻き込んで実行していくことが大切だよ。この発表だけで終わらせないで。

「インド領事」

* 笑いのテストを期末テストにするって言ってたけど、審査員を笑わせられなかったら落第になるの？？笑
* 笑いをどうやってビジネスに（社会人にも）適応させていくの？

「アメリカ総領事」

* 笑いで培った力を将来どのように使いたいのか？
* 笑いはなぜ関西だけにとどまるのか？
* 笑いをどのように仕事で使うのか？（具体的なアイディアを聞かせてという意味）
* 笑いの授業ができそうな先生が学校にはいますか？

Ⅱ　各総領事コメント

①　オランダ総領事：ローデリック・ウォルス氏

　とても印象的なプレゼンテーションだった。昨日、素晴らしい予行練習を拝見したが、本日はもっと良くなっていた。妻と私はQ＆Aで４つのグループと話が出来たが、どのアイディアにも刺激を受けた。笑いと学問。このアイディアを行動に移すべくお互いに話し合うべきだ。我々のような外交官と学校が、ここに本日出会ったのは、こういったアイディアを現実化する可能性を求めるためであったように思う。夢を現実にするために頑張りましょう。

②　インドネシア総領事：ウィスヌ・エディ・プラティグニョ氏

　４つの学校の生徒さんと話をした。とても興味深く、また聡明なアイディアであった。北野高等学校のテーマである「ホームレス問題」。関西学院千里国際高等部の「外国人労働者問題」。そして葺合高等学校の「ロボット」。それぞれが違う視点で相互に関連をもち、大変面白かった。総じて日本の発展への道――それこそがあなたたちの仕事であると感じた。

③　タンザニア名誉総領事：鴻池一季氏

　英語力、構成その能力の高さに大変驚いた。大阪はエンターテインメント性において優れた都市です。そういった意味で四条畷高等学校の「笑い」に着目したアイディアに大変共感を覚えた。